

○事業所名	放課後等デイサービス・こぎつねくらぶfartlek		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数) 47名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の質の高さと配置人数が多いところです。 法令人員よりもより多く配置することで、子ども達の見守りの強化と子ども達の声を聞き漏らす事なく支援にあたれています。	子ども達のすぐ近くに職員を配置することで、子どもたちの「今！」感じている気持ちを聞けるようにしています。 また、子ども達の気持ちを決して否定せず常に寄り添い、常に味方であり続けます。	研修を通して、知識をつけます。 資格を取得し(国家資格、民間資格含む)専門性を高めていきます。
2	器械運動を含む、運動に特化した療育が充実しているところです。	運動能力を伸ばすこともそうですが、とび箱や鉄棒、なわとびなど学校生活で必要となってくる器械運動を取り入れることで、やったことのない児童は経験を、やったことのある児童は復習をすることで少しでも苦手意識をなくし学校生活を充実したもとに出来る様に活動しています。	個々の強みや課題をもっと細分化し、小集団の中でも個別に指導が行える様な活動にしていきたいです。 得意な児童はもっと強み・自信になるような、得意でない児童は少しでも苦手意識を減らし達成感を感じるような取り組み方を考えていきます。
3	年間を通して行事が多いことです。 お楽しみ会や納涼祭、クリスマス会はもちろん月に一度は遠足に行きます。 施設の内外問わず、子どもたちに家庭や学校以外での沢山の経験をしてもらいます。	遠足の行き先は飽きがないように場所や活動内容を選定しています。 子ども達とどこに行きたいか一緒に考えてもらい、同じ場所であっても内容を変えたりと工夫を行っています。	保護者やきょうだいの参加できるようなイベントを考えていきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレーニングの実施がない事と家族で参加できる研修会の機会がもててないことです。	こぎつねくらぶでの開催は場所や駐車場、時間の問題もあり現状難しいと考えています。	外部での研修の情報があればSNS等で周知させていただきます。 こぎつねくらぶでの開催は様々な問題を考慮し、検討させていただきます。
2	地域交流の場が少ないところです。	学休日や短縮授業の際には、図書館や近所の公園、買い物などに行き、遠足も月に1回あり校外学習を行っています。 子ども達の希望の場所や楽しめることに重点をおいて活動してきたのが要因だと考えられます。	近くの学童や福祉施設、市のイベント(ゴミ拾いや花を植える等)にもっと積極的に参加していければと思います。 ただ、これ以上の交流を望まれてないご家庭も一定数いらっしゃると思いますので皆様にご納得していただけるような形で考えていく必要があります。
3	ご家族との交流の場がないところです。	現在、利用してくれている児童中心の活動を考えて実行してきました。 その日の利用児童と職員に加えご家族も一緒に活動していただく場所の確保が出来ていないからです。	ご家族参加型のイベントを考えていきたいです。 一日の利用定員もありますので、どんな日程を組むのか、どの場所とするのか、駐車場を含むご家族の来所方法をどうするのかを検討していきます。